

作成：令和1年6月1日  
改定：令和4年6月14日

# 安全データシート（SDS）

## 1. 製品及び会社情報

製品名：50%メタノール  
会社名：株式会社土田商店  
住所：諏訪郡下諏訪町 242-1  
代表者：土田耕嗣  
電話番号：0266-28-3232  
FAX：0266-28-3235  
整理番号：  
緊急連絡先：諏訪化成センター  
担当者：五味 国博  
電話番号：0266-73-2500

## 2. 組成、成分情報

単一製品・混合製品の区別：単一製品  
化学名：メタノール、メチルアルコール  
成分及び含有量：50%  
化学式又は構造式：CH<sub>3</sub>OH  
官報公示整理番号：化審法（2）-201  
安衛法（2）-201  
CAS No：67-56-1  
国連分類：非該当  
国連番号：非該当

## 3. 危険有害性の分類

GHS 分類：  
引火性液体：区分2  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分2A  
急性毒性：経口：区分5  
生殖毒性：区分1B  
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性）  
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性）  
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分3（麻酔作用）  
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分1（中枢神経系、視覚器）

GHS ラベル要素：



危険

危険有害性情報：

引火性の高い液体及び蒸気  
強い眼刺激

飲み込むと有害のおそれ  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
臓器の障害(中枢神経系、視覚器、全身毒性)  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期又は反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、視覚器)

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

分類の名称 : 急性毒性物質  
危険性 : 特別な危険性は報告されていない。  
有害性 : 有機溶剤中毒を起こす恐れがある。  
環境有害性 : 環境への影響は報告されていない。

#### 4. 応急処置

---

吸入した場合 : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに患者を毛布等で包み、新鮮な空気が得られる場所に移し安静にさせる。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物がある場合には飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。  
蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には新鮮な空気が得ら得られる場所に移し安静にさせる。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類、靴等を脱がせ、接触部を多量の水、または石けん水で十分に洗浄する。外観に変化が見られたり痛みがある場合は直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに多量の水を用いて 15 分以上洗浄する。洗浄の際はまぶたを指で開いて、眼球・まぶたの隅々まで十分に洗浄すること。洗浄後は速やかに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 意識がある場合は大量の水を飲ませ、医師をできるだけ早く呼ぶ。意識を失っている患者には、何も与えてはならない。

#### 5. 火災時の措置

---

消火剤 : 水噴霧、粉末、泡消火器、不燃性ガス等で一挙に行なう。  
消火方法 : 消火作業は安全な距離を確保し、風上から行う。  
棒状の水を噴射するものは、飛沫を周囲に飛散させる恐れがあるから注意する。  
容器周辺の火災の場合には、速やかに容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は、容器およびその周囲に散水して冷却する。

消火を行なう者の保護 : 「8. 暴露防止及び保護措置」の項に記載の保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

---

人体に対する注意事項 : 風下の人を避難させる。漏洩した場所の周囲にはロープを張るか、または付近に警告を発するなどして人の立入りを禁止

	する。
	漏洩した箇所の修理その他の作業をする場合は、保護眼鏡、保護手袋、長靴、保護衣、安全帽など適切な保護具を着用する。風下で作業しない。
環境に対する注意事項	: 漏洩した製品を未処理のまま、河川等自然界へ流出させないようにする。
除去方法	: 少量の場合は砂等不燃性の吸着剤に吸着させて取り除き、多量の水で洗い流す。 多量の場合は土砂等でその流出をとめこれに吸着させるか、または安全な場所に導き、できるだけ回収する。残分は多量の水で洗い流す。 必要に応じて保健所、消防機関、警察署へ通報する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

---

取扱い	: 作業は「8. 暴露防止及び保護措置」の項に記載の保護具を着用して行なう。 自然換気ができないときには局所排気装置を設け、十分室外排出をする。 容器は使用の都度密栓をする。 作業場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保管	: 流出した製品が外部に流出しないよう流出防止施設を設ける。 ポリ容器等は直射日光を避け、冷暗所に保管する。 換気の悪い場所には保管しない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

---

管理濃度	: (労働安全衛生法) 200ppm
許容濃度	: (日本産業衛生学会 1998年) 200ppm(260mg/m <sub>3</sub> )
設備対策	: 屋内作業所では、作業者が直接暴露されない設備とするか、または局所排気装置を設置する。
保護具	: 呼吸用保護具 有機ガス用防毒マスク、送気マスクを使用する。 保護眼鏡 ゴーグル型 保護手袋 ゴム手袋 保護衣 不浸透性保護衣、ゴム長靴、ゴム前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

---

外観等	: 無色透明の液体で、刺激臭あり。
比重	: 0.916(20°C)
沸点	: 76.7°C
凝固点	: -54.5°C
溶解度	: 水に可溶

## 10. 安定性及び反応性

引火点	:	十分な情報を有していない。
発火点	:	十分な情報を有していない。
爆発限界	:	十分な情報を有していない。
可燃性	:	知見なし
発火性	:	知見なし
自己反応性・爆発性	:	知見なし
安定性・反応性	:	通常の手扱い条件においては安定。

## 11. 有害性情報

皮膚腐食性	:	知見なし
刺激性	:	知見なし
急性毒性	:	経口ヒト TDL <sub>0</sub> 3,429mg/kg ラット LD <sub>50</sub> 5,628mg/kg マウス LD <sub>50</sub> 7,300mg/kg 吸入ヒト TCL <sub>0</sub> 300ppm ラット LC <sub>50</sub> 64,000ppm/4H マウス LCL <sub>0</sub> 50ppm/2H
慢性毒性	:	知見なし
発ガン性	:	知見なし
変異原性	:	知見なし
催奇形性	:	知見なし
その他	:	特別な有害性は報告されていない。

## 12. 環境影響情報

残留性／分解性	:	知見なし
生体蓄積性	:	知見なし
生態毒性	:	
魚毒性	:	知見なし
その他	:	漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意し、製品や洗浄水が地面や川、排水溝に直接流れないように対処すること。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	そのまま廃棄せず、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法規・法令を順守し適正に処理するか、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、処理を依頼する。
汚染容器	:	容器等の廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、処理を依頼する。
廃棄作業	:	作業を行なうときは必要に応じて保護具を着用する。

## 14. 輸送上の注意

---

国連分類 : 非該当  
輸送の安全対策 : 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう荷崩れ防止を確実にこなう。  
荷役作業を行なうときは、必要な保護具を着用する。

## 15. 適用法令

---

毒物劇物取締法 : 該当しない  
消防法 : 該当しない  
労働安全衛生法 : 有機溶剤中毒予防規則 第2種  
P R T R法 : 該当しない

## 16. その他の情報

---

引用文献 : 産業中毒便覧  
危険物ハンドブック  
化学防災指針集成 日本化学会編  
14303の化学商品 化学工業日報社  
化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)  
化学工業日報社

当安全データシートは、令和4年6月14日現時点で入手でき得た知識、情報に基づいており、取扱い、使用、保管、輸送、廃棄などについての安全に関する情報を提供する目的で作成されたものであり、記載のデータや評価に関して、いかなる保障をなすものではありません。  
それぞれの用途や用法に適した安全対策を、自己の責任で実施の上お取扱いください。